

# 博士論文発表会（公聴会）

（生命医科学プログラム）

発表者 成松 勇樹

題目

マウスにおける視床下部分泌性小タンパク質  
NPGL/NPGMがエネルギー代謝調節に及ぼす影響  
(Effects of neurosecretory protein GL and neurosecretory  
protein GM on energy homeostasis in mice)

日時 7月31日（月）11:00–12:00

理学研究棟B301

要旨

肥満に伴う生活習慣病はQOLを著しく低下させるため、予防・対策が迫られている。近年、脂肪蓄積に関わる2つの新規脳内因子 (neurosecretory protein GL: NPGL, neurosecretory protein GM: NPGM) が同定されているが、これらの脳内因子がエネルギー代謝調節に及ぼす影響は明らかにされていなかった。本研究において、NPGL/NPGM 前駆体遺伝子過剰発現系や遺伝子改変マウスを用いた解析の結果、NPGL/NPGMは肥満を誘導する一方で、生活習慣病の発症を伴わないことが示唆された。

本セミナーは統合生命科学研究科プログラム共同セミナーの対象です。

学部学生・大学院生・教員どなたでも参加可能です。

学外者の方で公聴会に参加を希望される場合は、事前に、理学系支援室(ri-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp)まで連絡してください。事前に連絡が無い場合は、参加できません。

皆さまのご来場をお待ちしております。

連絡先：大学院統合生命科学研究科・総合科学部  
浮穴和義（内線：6571） [ukena@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ukena@hiroshima-u.ac.jp)